

等して、高齢者の図書館利用を促すようにした。

障がい者サービスについては、永山図書館から中央図書館へサービスの拠点を移す際に障がい者向け図書の本棚を開架フロアに中央図書館にあらたに設け、手に取りやすい環境を整えた。

基本目標 1 の 2、若年世代の図書館利用の促進について中央図書館では、2階にラーニングコモンズ、1階にグループ研究室を設置し、ティーンズ等がグループで利用できるスペースを設けた。また、近隣の高校生や職場体験に来た中学生が薦める本の展示コーナーを高校と連携して実施する等して、利用者が手に取れるよう工夫した。

その他、SNSを活用して様々な情報を発信することで来館しない利用者にもPRした。

基本目標 1 の 3、多文化サービスの充実について、令和5年度は図書館ホームページの利用案内について多言語対応ができていなかったが、令和6年度は実施する予定としている。

基本目標 2 子どもへのサービスの充実 4 の多摩市子どもの読書活動推進計画の推進については、引き続き外国語の資料など所蔵数が少ない資料を充実させるとともに幼稚園・保育園の園児向けの図書館PR、小・中学生向けの図書館PR、児童館・学童クラブとの連携を進める。支援の必要な子どもたちに向けては関係課・機関と調整しながら進めていきたいと考えている。

おはなし会ボランティアの後継者育成については、引き続きあり方を検討するとして、育成手続きの内規を作成した。

実績としては、第15回子ども読書まつりを実施し、様々な展示やイベントをすることで図書館に来館する機会を設けた。また、保育園・幼稚園へ本のセット貸出を新たに開始し、多くの園に利用していただくよう工夫した。外国語での読み聞かせについては、実施する団体と協働で取り組み、様々な文化に触れるきっかけとなった。

基本目標 3 市民や地域に役立つ図書館 5 の読書活動に取り組む団体の支援については、除籍した資料を市内小・中学校、児童館・学童クラブ・保育園・幼稚園、その他社会福祉施設、子ども食堂を対象にリサイクル本配布会を実施した。

6の「読書活動振興のためのイベント開催」について中央図書館では、近隣大学と連携して図書に関係するサークルとともに様々なイベントを開催した。

7の読書活動に関心を高めるための事業については、J S日本総合住生活（株）が運営する多摩八角堂、ココリア多摩センターにある丸善多摩センター店、無印良品等と連携して企画展示や各種イベントを実施することで、新たな本との出会いの場を提供した。

8の地域資料の活用による地域文化の継承については、中央図書館の地域資料コーナーを拡大することで旧本館の閉架にあった資料を開架に配架することで充実を図った。

基本目標4 しらべるを支え、つながる図書館 9の地域課題解決の支援については、ホームページからのレファレンスが受けられるように運用を検討し、年度内に来館せずに利用者がレファレンスサービスの申し込みができるようになった。

10の「デジタル資料の提供」については、新たに電子雑誌を導入した。図書館ホームページ等で利用方法を周知し、定期的に利用説明会を実施した。

基本目標5 弾力的な管理・運営 11の本館の機能強化については、中央図書館の開館に向けて移転、準備を行い中心館としての機能を果たせるよう進めた。

12の図書館コンピュータシステムの見直しによるサービス向上については、令和6年度に機器の更新で見直しをする予定としている。

13の職員体制の見直しについては、職員の研修計画を作成することで計画的にスキルアップに努めるとともに能力向上を図った。

14の「ボランティア活動の推進」については、本館閉館・中央図書館開館記念イベントを市民と協働で開催した。詳細については、資料1-2をご覧ください。

16のICTの活用については、中央図書館にWi-Fiを導入し利用者がインターネットに接続しやすい環境を整えた。また、ICタグを活用することでセルフによる本の貸出や返却ができるようにした。

続いて、資料1-3の令和5年度多摩市立図書館事業評価の3項目について、一つ目は子どもへのサービスの充実となる。実施結果は、資料の通りである。自己評価としては、第三次計画の期間を1年延長したことからアクションプランについても引き続き作成をしていくとともに毎月のお話会やイベントについても充実を図りたいと考えている。また、保育園・幼稚園へ

のPRについても引き続きおこない今後の事業運営につなげていきたい。同時に各館における長期休みを利用したイベント等や外部でのお話会についても可能な限り継続して実施していきたい。

二つ目は、弾力的な管理・運営についてである。こちらについては、中央図書館開館に向けて蔵書移転準備を経て、無事終了し、円滑に運用することができた。今後も資料の充実を図るために定期的な資料購入を考えている。また、雑誌等の配置を変更することで利用者が情報にアクセスしやすいようにした。

三つ目は、ICTの活用についてである。こちらは、セルフによる貸出・返却の案内を積極的に行うことで中央図書館は利用が増えているなかで円滑な運用ができた。

資料1-4では、図書館事業評価対象項目を毎年度対象とする基本目標(2)とこれまでに評価対象としていなかった項目2項目の3つを対象にすることとしている。評価の期間は、令和6年5月から8月とし、評価結果は市民に公表し、評価の結果に基づいて運営改善に努めていくとともに次年度に反映していく。スケジュールは、資料1-5のように図書館協議会第2回において評価対象である3項目についてそれぞれ協議し、第3回で、内容をまとめて委員へ送付し、決定をする。第4回では評価結果及び今後の方向性を協議会に報告した上で令和7年度の計画策定に着手できるようにする。

資料1-6については、白抜きになっている部分が今年度評価項目としているものになる。

会長 事務局から説明のあった議題1について、質問・ご意見等があれば発言をお願いします。

会長 表1にある利用実績をみると、中央図書館の開館が見事に数値にあらわれている。3月末時点での来館者数はどうか。

企画運営主 来館者数は、71万人なのでこのままのペースだと8月末頃に100万人に達すると予測している。

会長 表4にある電子書籍数について、令和4年に比べると令和5年の冊数が減っているが、理由はあるのか。

企画運営主 書籍数については、期限付きのもの・回数制限があるものも購入しているので、令和2・3年度に比べると令和4年度は予算を多くつけていないので、冊数が減っている。

委員 紙の書籍だとなくなることはないが、電子書籍だと閲覧が多いとなくなってしまうという欠点がある。

- 委員 電子書籍は、全部そうなるのか。
- 企画運営主 全てがそうではない。電子書籍は、ライセンス型というシステムを使用していれば継続して使うことができるものと期限付きのもの2種類がある。どうしても期限付きのものの方が紙でも人気であることから、そちらを購入することが多くなっている。
- 会長 表2の他市との比較について、武蔵野市は、3市2区（西東京市・小金井市・三鷹市・練馬区・杉並区）が隣接している市である。隣接市民の利用も多く、純粋な利用者が市民のみとは限らない。
- 委員 外国語の資料の充実を図るとなっているが、これは中国語になるか。
- 企画運営主 中国語に訳されている絵本になる。
- 委員 おはなし会ボランティア育成について、内規を作成したとあるが、おはなし会を進める上での共通したマニュアルはあるのか。現状は、各ボランティア団体が独自にルールを決めておはなし会を実施しているが、図書館としての方針はあるのか。今後、各館ごとにおはなし会で使える道具や場所使用方法などが分かるといい。
- 企画運営主 共通したマニュアルの確認は出来ていないが、改めて確認する。
- 委員 各館付けの物品の使用法や収納場所等については違いがあると思うため、各館の初めての方でも分かるマニュアルがあるか確認する。
- 委員 2ページにある当日返却された本とあるが、東寺方の場合、実際に返却し、並べるものとそうでないものがあった。このしくみはどのようになっているのか。自分は、返却した本のなかに再度予約したいものがあったが、棚に戻らず対応が分かりにくかった。
- 企画運営主 東寺方の場合、当日返却された本で予約がなければ棚に並べられるが全部の本がそうではなく中央館に戻すものもある。
- 委員 職員によって、利用者への説明が足りないこともあるので周知したほうがよい。
- 委員 9ページにある多摩市国際交流センターとの打合わせは、どんなことをやったのか。
- 企画運営主 打合わせでは、多言語に対応した図書館案内の冊子の紹介

- 査 と日本語を母国語としない方にどんなふうにしたら利用してもらえるか、ご意見をいただいた。結果、図書館を利用しているかどうか簡単なアンケートをとってみてはどうかとアドバイスをいただいた。
- 委員 多摩市国際交流センターの外国人の学習登録者数は、現在151人いる。図書館に冊子などで情報提供をしているが、なかなか浸透していない。多言語の対応言語はいくつか。
- 企画運営主 5言語（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語）
査 になる。
- 委員 今年度は、アンケートをとるとの事なので、もう少し多言語のPRも進展することになるだろうから期待している。
予算の問題もあるかと思うが、日本語の資料冊数も少ないので種類を増やして欲しい。現在、置いてあるのは「みんなの日本語」のみと認識しているので、他にもあれば教えて欲しい。
本のリクエストを出せばいいのか。
- 企画運営主 要望は、リクエストで出して欲しい。
査
- 委員 10ページにある図書館ニュースを発行した配布先に島田療育センターも入れて欲しい。
- 企画運営主 了解した。
査
- 委員 14ページにあるリサイクル本について、出す基準はあるのか。
人気のある本を優先的に小・中学校に回してくれるとありがたい。
- 委員 保育園・幼稚園への本の貸出について、利用している園が少ないことについて、どんな本のセットが入っているのか分からない、自分で図書館に来て選ぶほうがいいという意見もある。どうしても借りるのに躊躇してしまっているところもあるで、利用の懸念材料を園長会等で聞いてみる。
- 企画運営主 7月以降になるが、今年度も園長会にお伺いできたらと考えている。どんな内容の貸出セットなのか、手元資料で分かるようにリストを作成できればと考えている。
査
- 委員 それは、非常にありがたいし助かる。
- 委員 一般貸出のブックリストをホームページで見えることはできたか。そこに保育園・幼稚園版としてリストを掲載してはどうか。
- 企画運営主 児童館・学童についてはすでに掲載ページがある。保育園・

- 査 幼稚園向けのリストも掲載があったかと思うが、アクセスの仕方等も含めて、園長会においてお示しできればと思う。
- 委員 団体貸出は、団体員が図書館に来て団体貸出室からも借りることもできるので、利用することをすすめる。
- 会長 26ページにあるBDSの効果についての集計は出ているのか。
- 企画運営主 蔵書点検については、去年は移転があったため見送りとなり、今年度についてもシステム入れ替えがあるため見送りとしている。よって、来年度に実施することになるためそこで検証する。
- 査 一般論としては、飛躍的に落ちる傾向にある。やはり抑止効果があるのではないか。
- 会長 報告1 令和6年度多摩市立図書館事業計画について、事務局から説明をお願いします。
- 会長 資料は、資料2となる。令和6年度図書館事業計画について主な取り組みについて説明する。
- 図書館長 基本目標1の1 だれもが使える図書館というところでは、未利用者のニーズ把握をし、図書館サービスや事業計画に反映したいと考える。こちらは（仮称）第二次多摩市読書活動推進計画において市民アンケートを実施したことからこちらの集計内容を参考にしたいと考える。
- 1の2 若年世代の図書館利用の促進については、ティーンズ等が声を出して利用できる学習スペースについて現状を分析した上で使用方法を検討する。
- 基本目標2の4では、引き続き幼稚園・保育園・児童館・学童クラブへの団体貸出PRを進めていきたい。
- 基本目標3の5にあるリサイクル資料についても引き続き各市内小中学校等に提供する等して、有効活用に努めたい。
- 3の6では、中央図書館が開館1周年記念のイベントを市民協働で実施する。
- 基本目標4の10にあるデジタル資料の提供については、電子書籍サービスを円滑に進め、利用の促進を図る。
- 基本目標5の11では、2年目となる中央図書館の運営について、管理運営方針に従い、運用していく。
- 5の12では、令和6年度に予定しているシステム機器の入れ替えについてスムーズにできるようにする。
- 5の13では、職員体制の見直しをしながら円滑に業務をする。

5の16では、令和7年度に借り上げ期間が終了する関戸・永山の機器を円滑更新できるように今年度からスケジュール検討する。

会長 事務局から説明のあった報告1について、質問・ご意見等があれば発言をお願いします。

会長 各々の活動指標についてだが、3ページでいうと10代後半と20代の利用率が令和4年度に下がっている理由はあるのか。

下がっているなかで令和6年度の目標値を上げているが妥当なのか。

企画運営主 下がっているのは、コロナの影響もある。令和5年度の集計がまだできていないところだが、利用率は上がっていると思われる。よって、数値は妥当と考えている。

会長 4ページにある同じく活動指標にある、「子どもと本を楽しんでいる」と答える保護者の割合について、1歳6か月児健診受診者については99%としている理由はあるのか。100%にしてもいいのではないか。

図書館長 数値も高止まりしているところであるが、こちらの数値は当初の振興計画でお示ししているものであり、年度ごとに数値を定めているものではない。新しい計画を立てる時に検討する。

会長 5ページにある団体への貸出冊数について、令和6年度目標に令和2年度末の目標を使うというのはどういうことか。目標値が下がっている理由はあるのか。

図書館長 令和2年度末の目標と記載されているのは間違いである。当初の計画を延長していることからそのままを記載してしまっている。こちらの冊数は、すでに達成している数値を目安としてお示ししているものとなる。

会長 他の数値も同じか。

企画運営主 そのままスライドしている。

査

委員 次回のときには書き換えた数字が分かるということか。

やはり目標があって、取組みがあって、実施結果があり、自己評価するということになるので令和6年度の目標をお示しいただきたい。

図書館長 活動指標については、すでに5ヵ年計画の中で定められているものなのでこちらの数字を書き換えることはできない。令和5年度の最新の実績の数字が出るのでその数値に対して評価を

することになる。よって、目標値を検討するのは今後の令和7年度の計画においてとなる。

会長
会長

目標ではなくて、計画目標値等にすると分かりやすい。

報告2（仮称）第二次多摩市読書活動推進計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

図書館長

資料は、資料4となる。

多摩市読書活動振興計画と第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を一本化していくことが令和3年の教育委員会にて決定したことを受けて、（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画を令和7年に策定する予定としている。

基本方針の「市民の「知る」を支援する」については、引き続き継続していき、5つある運営方針については、部分的な見直しを検討していくとしている。

次期計画のポイントとしては、各館の地域の特性やニーズ等も加味しながら運営手法の方向性のスケジュールを盛り込んでいく予定である。また、唐木田図書館、東寺方図書館の運営手法等についての方針決定時期を盛り込む。

計画のスケジュールは、令和5年度から進めており令和6年度には、策定委員会・有識者会議の開催をする。こちらで素案を決定し、令和7年度にパブリックコメントを実施し、9～10月頃に計画決定とする。その後、協議会や議会に報告をする予定としている。策定体制は、策定委員会を関係課長12名で構成し、計画の案を検討していく。

意見照会を有識者会議とその他の関連審議会にて行う。有識者会議は、13名以内としており、策定委員会で話し合われた内容に対する案の方向性等のご意見をいただき、教育委員会へ報告する。委員構成は、資料のとおりである。

その他の審議会等においてもご意見をいただくことになる。

市民ボランティア連絡会が重複しているので削除をお願いします。

また、市民参画の一つであるアンケート実施について、市民向けは終了しているが、児童・生徒、保護者、ボランティア団体などは実施中である。こちらの集計結果についても参考にしながら計画に盛り込む。

会長

事務局から説明のあった報告2の（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の策定についてご意見等があれば発言をお願いします。

委員 2 ページにある次期計画のポイントにある唐木田図書館、東寺方図書館の運営手法についての方針決定時期を盛り込むとしているが、こちらは1 ページのこれまでの経緯にある地域館が唐木田図書館、東寺方図書館を差しているのか。

図書館長 大規模改修を控えているのは、豊ヶ丘図書館と東寺方図書館になる。

現在、唐木田図書館では受付業務を委託しており、東寺方図書館は職員が常勤ではなく会計年度職員で運用している。こちらについては、現在試行的に行っているので、運営手法の方針決定の時期を盛り込む予定である。

会長 報告3 本のまちプロジェクトについて、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料は、資料5となる。

このプロジェクトの目的は、書店員と図書館職員が連携して本のまちをPRするため多摩センター・永山・聖蹟桜ヶ丘駅周辺で1年を通してさまざまなイベントを企画し、開催するものである。参加書店は、資料にある通りで年間のスケジュールを目安に各エリア同じテーマで連携して取り組むこととしている。

5月のGWについては、キックオフイベントとして中央図書館で開催し、各プログラム盛況であった。

今後のイベントについては、各エリアで書店の意見等も伺いながら検討することとしている。

会長 事務局から説明のあった報告3の 本のまちプロジェクトについてご意見等があれば発言をお願いします。

ないようなので、続いて報告4 図書館第V期コンピュータシステム機器入れ替えに伴う休館について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料は、資料6となる。

資料にある通り、多摩市の図書館全館にて機器の入れ替えのため休館とする。期間は、令和6年6月22日（土）～6月30日（日）としており、一部サービスを制限して開館する期間を23日（日）～27日（木）としている。利用できるサービスとそうでないサービスがあるので確認していただきたい。また、機器入れ替えのため、貸出・延長期間を2週間から4週間に変更することで対応している。詳細は、裏面を参考にしていきたい。

- 会長 事務局から説明のあった報告4の 図書館第V期コンピュータシステム機器入れ替えに伴う休館についてご意見等があれば発言をお願いします。
- 委員 入れ替え期間中に利用できないサービスで電子図書館とあるが、「多摩市の情報」は閲覧可能なのか。
- 企画運営主 多摩市の情報とは、地域資料のことで多摩市の独自の資料で
査 ログインしなくても閲覧が可能のため図書館システム停止中でも閲覧できる。
- 委員 少し表現が分かりにくいと思う。
- 会長 報告5 図書館デザイン会議及び中央図書館開館1周年記念市民協働イベントについて、事務局から説明をお願いします。
- 図書館長 資料は、資料7・8となる。
中央図書館開館に伴い、市民協働という観点から市民にボランティアとして図書館に関わってもらうことを目的に講座を実施し、市民からのイベント企画を募集したものになる。結果、多くの応募企画が集まり中央図書館開館1周年記念イベントを中心に12月までに実施するイベントをプレゼン、参加者の多数決により決定したものになる。イベントの詳細は、資料8の通りである。
- 会長 事務局から説明のあった報告5の 図書館デザイン会議及び中央図書館開館1周年記念市民協働イベントについてご意見等があれば発言をお願いします。
- 委員 市民ボランティア活動の講座で実際に市民ボランティアを養成できそうか。
- 図書館長 図書館は、事務局としてあくまで場所貸し、広報を行い、市民が自らで企画し詳細についても全てやってもらうことを前提にしており、主体的に動いていただいている。9月には今までの振り返りをするので、今後のやり方も含めて検討していく方向である。
- 委員 市民の方々は、3月の図書館デザイン会議をボランティア養成講座とは思っていないで企画を出して、いつのまにか取り組んでいるのではないか。9月の振り返りの会議で十分に今後の在り方を検討して欲しい。
- 会長 報告6 第15回子ども読書まつりについて、事務局から説明をお願いします。
- 図書館長 資料は、資料3-1となる。
第15回子ども読書まつりの報告となる。

昨年度の子どもの読書活動の推進をテーマに展示や本の紹介、おはなし会等のイベント実施した内容をまとめたものとなる。各会場の写真と内容は資料の通り。多くの団体にご協力いただき、感謝している。

また、令和6年度、子どもの読書活動に積極的に関わった団体として多摩市内で活動しているコアラ文庫が受賞したことについて報告する。表彰式は4月23日に行われ、5月には教育長にも受賞の報告をしたものである。39年間、読書活動の普及・推進等、地域に大いに貢献していただいたことに感謝する。

こちらについては、タウンニュースでも取り上げられている。

会長 事務局から説明のあった報告6 子ども読書まつりについて
ご意見等があれば発言をお願いします。

会長 ないようなので、本日の令和6年度第1回定例会は終了する。